

特集

# いちご一會とちぎ国体

夢を感動へ。感動を未来へ。



令和4年（2022年）の第77回国民体育大会「いちご一會とちぎ国体」開催が正式に決定されました。栃木県での国体開催は、昭和55年の「栃の葉国体」以来42年ぶりとなります。矢板市では、矢板運動公園を会場にサッカー、軟式野球、オリエンテーリング競技を実施します。

今号では、いちご一會とちぎ国体の開催決定とその概要をお伝えするとともに、市民の総力を結集して設立した「いちご一會とちぎ国体矢板市実行委員会」の様子、矢板市のスポーツの盛り上がり、期待する競技関係者のコメントなどを紹介します。

国体をきっかけに矢板に来てくれた方たちとの出会いや、間近で全国トップレベルの競技を見た1人ひとりの感動が、矢板の明るい未来へとつながるような「いちご一會」となることを期待して…

栃木県で  
**42年ぶり**

**開催決定!!**

本大会の会期は、令和4年(2022年)  
10月1日(土)～11日(火)

県内で、正式競技37競技、特別競技1競技、公開競技5競技およびデモンストレーションスポーツ31競技を実施する予定です。

【矢板市内での実施競技】

<正式種目>



サッカー(少年女子)

サッカー競技の少年女子種別は、いちご一会とちぎ国体から新設される種別で、16歳以下で構成された16チームがトーナメント方式で前後半35分ずつ70分間、ハーフタイム10分間で戦います。(決勝戦のみ、20分間の延長戦あり)勝敗が決しないときは、PK方式により勝者を決定します。矢板市では、決勝戦、3位決定戦を含む11試合を開催する予定です。



軟式野球(成年男子)

軟式野球競技の成年男子種別は、32チームがトーナメント方式で9イニングで戦います。勝敗が決しないときは、延長戦(試合時間が一定の時間を経過した場合は、次イニングからタイブレーク方式。)で勝敗を決します。また、得点差によるコールドゲームも採用されます。矢板市では、1回戦2試合を開催する予定です。



<デモンストレーションスポーツ>



オリエンテーリング

オリエンテーリングは、一定の区域内に配された地点(コントロール)を、特別に作成された地図とコンパスを使用して、可能な限り短時間で走破するスポーツです。デモンストレーションスポーツは、国体開催の機運醸成を目的として本大会の会期前に、原則として県民を対象に開催します。



第77回  
**国民体育大会**

愛称は  
**いちご一会とちぎ国体**です。

昭和55年、第35回国民体育大会「栃の葉国体」の様子



坪山 健一さん

現矢板市体育協会副会長、元小学校長。当時は、矢板市教育委員会に出向し、栃の葉国体の運営を取り仕切った。

当時、運営に携わった坪山さんに様子を伺いました

ー当時の業務内容を教えてくださいー  
国体開催の支援のため、昭和53年から55年まで3年間、市の教育委員会で栃の葉国体の準備、運営にあたりました。競技会の開催のほか、陸上競技場で行われた開始式や、大会前の炬火リレーなど、競技、式典全般を担当しました。初めての国体開催ということで、とにかく手探りで必死だったことを記憶しています。

ー栃の葉国体を開催して良かったことは?ー

栃木県全体、矢板市全体が一丸となって国体開催を歓迎し、盛り上がりました。国体を機に、スポーツに興味を持つ人が増えて、スポーツ人口が増加したように思います。矢板市でもサッカーのまちとして定着するきっかけになりました。全国から参加した選手との交流も思い出です。当時の鹿児島県代表にサインしてもらったサッカーボールを大切に保管していますが、「りんごがおいしかった」「ありがとう」など記されています。市民を挙げて選手、観客をおもてなししたことを覚えています。

▼当時の様子を伝える「広報やいた」



▲炬火リレー出発式の様子  
▲サッカー競技(少年男子)の様子

# 国体をきっかけに、やいたのスポーツが盛り上がることに期待！



【サッカー】  
ヴェルフェ矢板 アカデミーコーチ **山本 奈**さん

ヴェルフェ矢板では、サッカーを楽しむ女性向けのカテゴリを設けていますが、競技志向の方を対象とした県北初となるU-15・U-18の女子チームを来年4月に設立するため準備を進めています。「いちご一会とちぎ国体」では、サッカー（少年女子）競技が市内を会場に行われることから、ヴェルフェ矢板の女子チームから国体選手が誕生したらうれしいですね。  
「いちご一会とちぎ国体」をきっかけに「サッカーのまち 矢板」が、性別や年代を超えて、さらに盛り上がることを期待しています。

【野球】  
矢板南ファイターズ 監督 **石田 広承**さん



矢板南ファイターズは、乙畑小校庭をホームグラウンドに、18人の子どもたちと楽しく活動しています。子どもたちには、中学・高校・社会人になっても大好きな野球を続けてもらいたいですし、野球の魅力を次の子どもたちに伝えられる人になってもらえたら、とてもうれしいことです。  
今いる子どもたちは小学生なので、3年後の「いちご一会とちぎ国体」に選手として出場することは叶いませんが、国体というハイレベルな試合を目の前で見て、子どもたちが、将来、プロ野球選手や大きな大会で活躍する選手になりたいという夢を持つきっかけになってくれたらと期待しています。



【オリエンテーリング】  
宮西山野精図 代表 **宮西 優太郎**さん

オリエンテーリングで矢板を訪れるうちに、自然豊かな里山に魅了され移住してきました。現在、オリエンテーリング大会の企画監修や運営を請け負う仕事をしているため、矢板を拠点に全国各地を飛び回っています。矢板の里山は、オリエンテーリングを行うのにとても向いていて、競技関係者からも、全国有数・東日本No.1のロケーションだと評価されるほどです。多くの大会では、初心者向けのコースが設けられていて、ルールなども丁寧に教えてもらえるので、気軽に参加してみたいと思います。  
国体をきっかけに、市民レベルで競技を楽しむ人が増えてくれたらうれしいです。

## 矢板運動公園の改修について

国体の会場である矢板運動公園の改修工事を行います。工事完了後、芝生の養生期間を設ける必要があるため、一定期間利用することができません。

普段利用されている皆さまにはご迷惑をおかけしますが、国体選手が最高のパフォーマンスを発揮するための整備ですので、ご理解をよろしくお願いいたします。



●陸上競技場  
改修期間／令和2年8月～令和3年3月（予定）  
利用制限／令和3年8月まで使用できません。  
その後は、利用の頻度を調整します。



●サッカー場  
改修期間／令和元年8月～令和2年3月（予定）  
利用制限／令和2年8月16日まで使用できません。  
その後は、利用の頻度を調整します。

# 選手との「いちご一会」からもらった感動を未来のやいたにつなげていきたい

## 国体を迎えるにあたって

7月に（公財）日本スポーツ協会が令和4年（2022年）の第77回国体体育大会「いちご一会とちぎ国体」開催を正式に決定したことを受け、8月22日（木）に矢板市における国体の万全の準備と円滑な競技会の開催を目的とした「いちご一会とちぎ国体矢板市実行委員会」を設立いたしました。この実行委員会では、市民の総力を結集し、全国から参加する選手に国内最大のスポーツの祭典にふさわしい最高の舞台を提供するとともに、市民に感動をもたらす大会運営を目指します。

また、国体の開催を契機として、市民のスポーツに対する興味、関心を高め、生涯スポーツの普及、振興を推進するとともに、矢板市の自然、文化などの恵まれた地域資源を市内外に発信し、人と人、地域と地域との交流を促進することにより、新たな活力とにぎわいの創出を図ってまいります。

今年度は、11月4日（振休・月）にとちぎフットボールセンターで開催したいちご一会とちぎ国体開催決定記念イベント「SOMPO ボールゲームフェスタ in 矢板」を皮切りに、国体関連のイベントなどを通して、国体開催の周知を図るとともに、市民の皆さまの機運醸成を図っていきたくと考えています。



いちご一会とちぎ国体矢板市実行委員会 設立総会の様子

## 国体のレガシーを未来につなげたい

矢板市が「サッカーのまち」として誕生したのは今から39年前、昭和55年の栃の葉国体でサッカー競技が開催されたことがきっかけでした。会場には多くの市民が観戦に詰めかけ、大いに盛り上がったと記録が残っています。

栃の葉国体後の、矢板東高校、近年では矢板中央高校の目覚ましい活躍は、まさにサッカーのまちにふさわしい実績です。また、この4月にオープンしたとちぎフットボールセンターは、今なおサッカーによるまちづくりが進められている象徴といえます。

40年近く前の感動と熱狂が脈々と引き継がれてきた結果、矢板にサッカー文化が根付いたといえるでしょう。

いちご一会とちぎ国体では、「夢を感動へ。感動を未来へ。」をスローガンとして掲げています。これには、アスリートたちが夢に向かって突き進む姿は、大会に参加する全ての人に感動を与え、その感動をレガシーとして、未来の人づくり、地域づくりにつなげていきたいという願いが込められています。

矢板市では、サッカーに加え軟式野球とデモンストラーションスポーツのオリエンテーリングを実施します。いちご一会とちぎ国体矢板市実行委員会が中心となって、万全の準備と最高のおもてなしで国体を成功させたいと思います。そして、栃の葉国体後と同様に、いちご一会とちぎ国体後に新たなレガシーが生まれ、未来のやいたにつながっていくことを期待しています。



矢板市実行委員会会長 矢板市長 齋藤 淳一郎

## あなたもボランティアでおもてなしに参加してみませんか？

スポーツには、「する」楽しみ方や「見る」楽しみ方のほかに、「支える」楽しみ方もあります。矢板市では、スポーツイベントの運営やサポートなどを行う「スポーツボランティア」制度を設け、「支えたい人」とスポーツイベント・大会主催者との橋渡しをしています。日本最大のスポーツの祭典である国体の運営には、皆さんの協力が欠かせません。「いちご一会とちぎ国体」をきっかけに、支える楽しみを味わってみませんか？

参加申込 → スポーツボランティア → 登録 → 募集状況の提供

いちご一会とちぎ国体 矢板市実行委員会 → ボランティアの募集依頼 → 矢板市教育委員会

申込・問い合わせ／生涯学習課スポーツ推進班 ☎(43)6218